

防災コラム

危機管理課

第15回

災害用伝言ダイヤル171

家族の安否を知るために

「大阪府北部の地震」「平成30年7月豪雨」により、各地で甚大な被害が発生しました。災害は私たちの平穩な生活に突如として牙をむきます。自分の家族が離れているときに災害が起きた場合、どのようにして家族の安否を確認すればよいでしょうか。

安否確認のツール

大規模な災害が起きたときには、多くの人が連絡を取り合おうとするため、電話がつながりにくい状況になります。そのような場合には、災害用の安否確認のツールを活用しましょう。安否確認のツールとしては、電話の通話機能の利用による「災害用伝言ダイヤル171」やインターネット経由による「災害用伝言板web171」、各携帯会社が提供している「災害用伝言板」「災

害用音声お届けサービス」などがあります。

災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルとは、電話の通話機能により、伝言を音声で登録し、全国からその音声を再生（確認）できるサービスです。伝言を登録できる番号は、固定電話・携帯電話・PHS・IP電話の番号（固定電話番号は被災地域の市外局番に限る）です。使用方法は、

まず「171」をダイヤルします。ガイダンスに従い、伝言を録音する場合は、数字の『1』を押し、自分の電話番号（固定電話番号は市外局番から）をダイヤルし伝言を吹き込んでください。伝言を再生する場合は、数字の『2』を押し、相手の電話番号（固定電話番号は市外局番から）をダイヤルすると伝言を再生できます。

災害用伝言ダイヤルは、毎月1日と15日に体験利用することができます。災害時に自分の無事を適切な手段で伝えることは、救助活動の助けにもなります。家族などで、録音・再生に使用する統一の電話番号を決めておくとう便利です。『災害時の声の伝言板』をもしもの時に使えるようにしてください。